

政策 03 安全に安心して暮らせるまちづくり

施策 01 地域コミュニティ活動の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	地域づくりに参加することで、地域の連携が深まっています。

施策の成果状況と評価

指標	地域で町内会・行政区の活動が機能していると思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【企画政策課】	%	65.0	-	60.0	→	☺
評価	(状況) 地域で町内会・行政区の活動が機能していると思う市民の割合は60.0%で、前回(H30)64.3%と比較し4.3ポイント減少し、総合計画基準値(H28)と比較し5.0ポイント減少していますが、市民アンケートによる指標であるため、統計誤差の範囲であり横ばいです。内容を見ると「機能している」が13.2%、「どちらかといえば機能している」が46.8%となっています。 (原因) 自治会加入率が下がっており、地域の繋がりが減っているため指標が向上しないと推測されます。						(横ばい) 目標達成度 ■■■ (低)
指標	市民・行政・地域がそれぞれ協力しあって地域課題に取り組んでいると思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【企画政策課】	%	71.2	-	68.3	→	☺
評価	(状況) 市民・行政・地域がそれぞれ協力しあって地域課題に取り組んでいると思う市民の割合は68.3%で、前回(H30)67.5%と比較し0.8ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較し2.9ポイント減少していますが、市民アンケートによる指標であるため、統計誤差の範囲であり横ばいです。内容を見ると、「取り組んでいる」が9.4%、「どちらかといえば取り組んでいる」が58.9%となっています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止などにより、協力して取り組んでいる姿が見えなかったことが要因と考えられます。						(横ばい) 目標達成度 ■■■ (低)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 自治会活動の活性化

基本事項 02 市民活動の推進

基本事項 03 人権意識の向上と男女共同参画社会の推進

基本事項01 自治会活動の活性化

指標	町内会・行政区活動に参加している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つぎ
	【企画政策課】	%	41.1	-	35.3	→	
評価	(状況) 町内会・行政区に参加している市民の割合は35.3%で、前回(H30) 38.8%と比較し3.5ポイント減少し、総合計画基準値(H28)と比較し5.8ポイント減少しています。 (原因) 自治会加入率の低下や、少子高齢化に伴う育成会活動の減少等により、20代から30代の地域コミュニティ活動への参加が低下しているものと考えられます。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により地域活動が制限されたことも要因として考えられます。						(低下)
							(低)

基本事項01 自治会活動の活性化

指標	自治会加入率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つぎ
	【企画政策課】	%	74.5	72.8	71.7	75.0	
評価	(状況) 自治会加入率は71.7%で、前年度と比較すると1.1ポイント減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると2.8ポイント減少しています。 (原因) アパート等借家の入居者の自治会加入率が低いこと、また世帯分割等により全世帯数が増加傾向にあることが要因として考えられます。						(横ばい)
							(低)

基本事項01 自治会活動の活性化

指標	集会施設を修繕・機能改善した自治会数(累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つぎ
	【企画政策課】	自治会	24	56	79	75	
評価	第8次総合計画初年度(H30)までの数値は単年度の実績値 (状況) 集会施設を修繕・機能改善した自治会数は79自治会で、前年度と比較すると23自治会增加し、総合計画基準値(H28)と比較すると55自治会增加し、目標値を達成しています。 (原因) 冷暖房設備の新規設置や修繕の支援項目などを追加するなど、時代のニーズに対応した支援を行っているためと考えられます。						(向上)
							(達成)

基本事項02 市民活動の推進

指標	市民活動に参加している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つぎ
	【企画政策課】	%	7.4	-	6.1	→	
評価	(状況) 市民活動に参加している市民の割合は6.1%で、前回(H30) 8.2%と比較し2.1ポイント減少し、総合計画基準値(H28)と比較し1.3ポイント減少していますが、市民アンケートによる指標であるため、統計誤差の範囲であり横ばいです。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の利用休止や感染症対策により活動が制限されたことも要因の一つと考えられます。						(横ばい)
							(低)

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 自治会活動の活性化

基本事項 02 市民活動の推進

基本事項 03 人権意識の向上と男女共同参画社会の推進

基本事項02 市民活動の推進

指標	市民活動における施設の年間利用者数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【企画政策課】	人	190,513	269,493	135,058	260,000
評価	<p>(状況) 市民活動における施設の年間利用者数は135,058人で、前年度と比較すると134,435人減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると55,455人減少しています。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、施設が休館となったことにより、施設利用者が減少したことが主な要因です。</p>					目標 達成度 --- ---	

基本事項03 人権意識の向上と男女共同参画社会の推進

指標	地域で男女が平等に社会参画できていると思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【企画政策課】	%	59.4	-	58.2	→
評価	<p>(状況) 地域で男女が平等に社会参画できていると思う市民の割合は58.2%で、前回(H30)56.5%と比較すると1.7ポイント増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると1.2ポイント減少しましたが、市民アンケートによる指標であるため、統計誤差の範囲内であり、横ばいです。</p> <p>(原因) 男女が平等に社会参画できていることへの理解は、一定程度浸透してきているものの、未だに固定観念が拭えない課題もあると考えます。</p>					目標 達成度 (横ばい) (低)	

基本事項03 人権意識の向上と男女共同参画社会の推進

指標	市や人権擁護委員が行う人権教室の参加人数（累計）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【企画政策課】	人	547	1,515	2,586	3,200
評価	<p>第8次総合計画初年度（H30）までの数値は単年度の実績値</p> <p>(状況) 人権教室及び人権セミナーへの参加人数は1,071人であり、前年度の983人から88人増加しました。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況においても、人権セミナーを開催するため、DVDに録画して講義を実施したためです。</p>					目標 達成度 (向上) (高)	

政策 03 安全に安心して暮らせるまちづくり

施策 02 防災・減災対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	防災・減災の取組によって被害を抑えられます。

施策の成果状況と評価

指標	被災世帯数・被災事業所数 【市民安全課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		件	9	1,954	979	0	傘 (低下)
評価	(状況) 被災世帯数・被災事業所数は979件で、前年度と比較すると975件減少しましたが、総合計画基準値(H28)と比較して970件増加しています。内訳は火災が11件、地震災害が959件、風水害等が9件です。 (原因) 令和元年東日本台風のような風水害が発生しませんでした。令和3年福島県沖地震による被災を受けたことから、指標値の大幅な改善には至りませんでした。					目標 達成度 ■ (低)	

指標	災害・火災による死亡者数 【市民安全課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		人	2	3	3	0	傘 (低下)
評価	(状況) 災害・火災による死亡者数は3人で、前年度と同数ですが、総合計画基準値(H28)と比較すると1人増加しています。内訳は建物火災による死者が2人、林野火災による死者が1人です。 (原因) 建物火災において、住宅用火災警報器が未設置であったことが要因の一つと考えられます。					目標 達成度 ■ (低)	

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	地域防災力の向上
基本事項 02	災害時の避難・支援体制の確立
基本事項 03	治水・浸水対策の推進
基本事項 04	急傾斜地崩壊防止施設の整備
基本事項 05	消防体制の充実

基本事項01 地域防災力の向上

指標	市民の防災対策の平均実践項目数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	項目	2.65	-	2.76	→	☀ (向上)
評価	(状況) 市民の防災対策の平均実践項目数は、2.76で前回 (H30) 2.57と比較すると0.19項目増加し、総合計画基準値 (H28) と比較して0.11項目増加しました。 (原因) 令和元年東日本台風の経験や、洪水・土砂災害ハザードマップを全戸配付したことにより、避難場所や非常用持出品等を始めとした市民の防災意識は高まっていると考えられます。						☀ (向上)
							■ (中)

基本事項01 地域防災力の向上

指標	自主防災組織率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	%	50.9	57.8	57.8	80.0	☀ (向上)
評価	(状況) 自主防災組織率は57.8%で、総合計画基準値 (H28) と比較すると6.9ポイント増加していますが、前年度と比較すると増減ありませんでした。 (原因) 全国的な自然災害の発生により自主防災組織の必要性は認識されていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、人の往来や集会が制限され、組織結成の機運が縮小していることが要因と考えられます。						☀ (向上)
							■ (低)

基本事項01 地域防災力の向上

指標	災害等による消防団員の平均出勤率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	%	62.2	68.1	68.0	72.0	☀ (向上)
評価	(状況) 災害等による消防団員の平均出勤率は68.0%で、前年度と比較すると0.1ポイント減少していますが、総合計画基準値 (H28) と比較すると5.8ポイント増加しています。 (原因) サラリーマン団員が8割を占めるなか、災害時に全団員が出勤することは困難ですが、団員の士気と責任感により支えられているものと考えられます。						☀ (向上)
							■ (高)

基本事項01 地域防災力の向上

指標	避難行動要支援者避難支援プラン (個別計画) における避難支援者登録割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【長寿福祉課】	%	56.0	50.5	53.6	65.0	☔ (低下)
評価	(状況) 避難行動要支援者避難支援プラン (個別計画) における避難支援者登録割合は53.6%で、総合計画基準値 (H28) と比較し2.4ポイント減少しているものの、前年度と比較し3.1ポイント増加しました。登録者数は、避難行動要支援者が前年度に比較し171人、避難支援者が同じく170人それぞれ増加しました。 (原因) 避難行動要支援者の新規登録の際に、避難支援者を確認し、登録を働きかけているためと考えられます。						☔ (低下)
							■ (中)

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 地域防災力の向上

基本事項 02 災害時の避難・支援体制の確立

基本事項 03 治水・浸水対策の推進

基本事項 04 急傾斜地崩壊防止施設の整備

基本事項 05 消防体制の充実

基本事項02 災害時の避難・支援体制の確立

指標	食糧の備蓄量	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
	【市民安全課】	食	18,000	18,000	18,000	→	
評価	(状況) 食糧の備蓄量は18,000食で、前年度及び総合計画基準値(H28)の18,000食を維持しています。備蓄以外に、民間企業等と災害時応援協定を締結しており、災害時における食糧確保体制を整えています。 (原因) 食糧備蓄量に変化が無い理由は、災害時の備蓄食糧数を決め、備蓄食糧の賞味期限切れと新規購入量がほぼ同数であり、備蓄食糧の在庫数に変化が生じないためです。						(向上) 目標達成 (達成)

基本事項02 災害時の避難・支援体制の確立

指標	災害情報伝達設備・手段の不具合・トラブル件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
	【市民安全課】	件	2	0	1	0	
評価	(状況) 災害情報伝達設備・手段の不具合・トラブル件数は1件で、前年度と比較し1件増加していますが、総合計画基準値(H28)と比較すると1件減少しています。 (原因) トラブル件数は、落雷により防災行政無線拡声子局1基が放送不能となったものですが、現在は、復旧しています。						(向上) 目標達成 (中)

基本事項03 治水・浸水対策の推進

指標	内水対策地区における床上浸水家屋数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
	【道路河川課】	件	0	649	0	0	
評価	(状況) 内水対策地区における床上浸水家屋数は0件で、前年度と比較すると649件減少しました。 (原因) 台風等により、浸水被害が想定される6地区について、排水ポンプの設置などを行い、内水排水体制を整えましたが、浸水に至るまでの異常出水が無かったことによるものです。						(向上) 目標達成 (達成)

基本事項03 治水・浸水対策の推進

指標	雨水計画区域内の管きょや内水排水施設の整備率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
	【下水道施設課】	%	88.4	89.7	89.7	91.6	
評価	(状況) 雨水計画区域内の管きょや内水排水施設の整備率は89.7%で、前年度から増減はありませんが、総合計画基準値(H28)と比較すると1.3ポイント増加し、順調です。 (原因) 令和2年度は西部2号排水区(館取町地内)の実施設計及び工事の一部に着手しましたが、工事が完了していないことから整備率に増減はありませんでした。令和4年度の整備完了後には整備率が向上します。						(向上) 目標達成 (中)

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 地域防災力の向上

基本事項 02 災害時の避難・支援体制の確立

基本事項 03 治水・浸水対策の推進

基本事項 04 急傾斜地崩壊防止施設の整備

基本事項 05 消防体制の充実

基本事項04 急傾斜地崩壊防止施設の整備

指標	急傾斜地対策事業として取り組む地区のうち、整備が完了した地区の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【道路河川課】	%	88.9	100.0	100.0	100.0	☀ (向上)
評価	(状況) 急傾斜地対策事業として取り組む地区のうち、整備が完了した地区の割合は、平成30年度に100%となり、目標値を達成しています。 (原因) 平成22年度から福島県が進めてきた急傾斜地対策事業により、日向地区の急傾斜地対策が完了し、須賀川地域5地区、長沼地域4地区計9地区の整備が完了したためです。					目標 達成度	☀ (達成)

基本事項04 急傾斜地崩壊防止施設の整備

指標	日向地区における危険が回避された家屋の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【道路河川課】	%	36.4	100.0	100.0	100.0	☀ (向上)
評価	(状況) 日向地区における危険が回避された家屋の割合は、平成30年度に100%となり、目標値を達成しています。 (原因) 平成30年度に家屋3戸の擁壁工事等を実施し、日向地区内の危険区域にある家屋10戸全ての危険が回避され、整備が完了したためです。					目標 達成度	☀ (達成)

基本事項05 消防体制の充実

指標	災害等現場への平均到着時間	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【市民安全課】	分	12分44秒	10分15秒	10分50秒	12分30秒	☀ (向上)
評価	(状況) 災害等現場への平均到着時間は10分50秒で、前年度と比較すると35秒遅くなりましたが、総合計画基準値(H28)と比較すると2分6秒短縮され、目標値を達成しています。 (原因) 日頃の訓練や、速やかな連絡体制が構築されていることによるものです。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> グラフ表示はありません </div>				目標 達成度	☀ (達成)

政策 03 安全に安心して暮らせるまちづくり

施策 03 暮らしの安全対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	暮らしの安全に対する意識高揚が図られています。

施策の成果状況と評価

指標	市内の人身事故発生件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【市民安全課】 1月から12月の暦年データに基づくものです。	件	221	107	81	200
評価	(状況) 市内の人身事故発生件数は81件で、前年度と比較すると26件減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると140件減少しており、目標値を達成しています。 (原因) 警察署の取締強化や交通安全関係団体等が連携して実施する交通安全啓発運動などにより、交通安全意識の向上が図られていることが要因と考えられます。					目標達成度	🏰 (達成)

指標	刑法犯認知件数 (須賀川警察署管内)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【市民安全課】 1月から12月の暦年データに基づくものです。	件	540	462	347	➡️
評価	(状況) 刑法犯認知件数 (須賀川警察署管内) は347件で、前年度と比較すると115件減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると193件減少しています。刑法犯認知件数のうち、窃盗犯が253件で全体の72.9%を占めています。 (原因) 警察署による取り締まりはもとより、小・中・高校生による少年非行防止活動や関係団体等による啓発活動により、犯罪防止が図られたことが要因と考えられます。また、万引きや車上荒らしなどの窃盗犯は再犯率が高い傾向にあることから、全体に占める割合が高いものと考えられます。					目標達成度	🏰 (達成)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 交通安全意識の高揚

基本事項 02 交通安全施設の整備

基本事項 03 子どもの登下校の安全確保

基本事項 04 犯罪に強い地域づくり

基本事項 05 消費生活意識の高揚

基本事項01 交通安全意識の高揚

指標	市内の交通違反による交通事故発生件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つぎ
	【市民安全課】	件	167	57	42	150	
評価	1月から12月の暦年データに基づくものです。 (状況) 市内の交通違反による交通事故発生件数は42件で、前年度と比較すると15件減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると125件減少しており、目標値を達成しています。主な違反としては、前方不注意が19件で全体の約45%を占めており、次いで信号無視、一時不停止の順となっています。 (原因) 警察署の取締強化や交通安全関係団体等が連携して実施する交通安全啓発運動などにより、交通安全意識の向上が図られていることが要因と考えられます。					 (向上)	目 標 達成度
							 (達成)

基本事項02 交通安全施設の整備

指標	交通安全施設を整備、機能改善した箇所数(累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つぎ
	【道路河川課】	箇所	122	221	239	222	
評価	(状況) 交通安全施設を整備、機能改善した箇所数(累計)は239箇所、前年度と比較すると18箇所増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると117箇所増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 令和2年度は、路面のカラー化や区画線の引き直しなど、18箇所の交通安全施設整備を実施したためです。					 (向上)	目 標 達成度
							 (達成)

基本事項03 子どもの登下校の安全確保

指標	登下校時の事件・事故件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つぎ
	【学校教育課】	件	11	13	14	5	
評価	(状況) 登下校時の事件・事故件数は14件で、前年度と比較し1件増加しており、総合計画基準値(H28)との比較では3件の増加であり、順調ではありません。 (原因) 各学校において、通学路の危険箇所の点検を関係機関・団体等と合同で行ったり、警察署員や交通教育専門員を招いて交通教室を実施し、安全な登下校についての指導を行ったりしていますが、ドライバーの不注意によるもらい事故のケースなどもあることから、周囲に気を付けて登下校するよう、指導を行う必要もあります。					 (低下)	目 標 達成度
							 (低)

基本事項04 犯罪に強い地域づくり

指標	防犯対策を実践している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つぎ
	【市民安全課】	%	52.0	-	52.1	→	
評価	(状況) 防犯対策を実践している市民の割合は52.1%で、前回(H30)49.0%と比較すると3.1ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると0.1ポイント増加しましたが、市民アンケートの指標であるため、統計誤差の範囲であり横ばいです。 (原因) 実践している防犯対策は、「自宅を出る際の戸締り確認」が最も多く、次いで「夜間の外出をなるべく控えている」「外出するときに家族などへ行先を伝える」が多い結果となっており、防犯意識の醸成が図られているものと推測されます。					 (横ばい)	目 標 達成度
							 (中)

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 交通安全意識の高揚

基本事項 02 交通安全施設の整備

基本事項 03 子どもの登下校の安全確保

基本事項 04 犯罪に強い地域づくり

基本事項 05 消費生活意識の高揚

基本事項04 犯罪に強い地域づくり

指標	防犯施設を整備、機能改善した箇所数（累計） 【市民安全課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		件	8,661	8,888	8,938	9,000	
評価	<p>(状況) 防犯施設を整備、機能改善した箇所数（累計）は8,938件で、前年度と比較すると50件増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると277件増加しており、順調です。 (原因) 防犯灯は夜間における犯罪、事故等の発生を抑制する効果が認められることから、市民生活の安全に資するため、防犯灯の効果的な設置を行ったためです。</p>						<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (高)</p>

基本事項05 消費生活意識の高揚

指標	製品安全3法に基づく立入検査による違反件数 【市民安全課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		件	0	0	0	0	
評価	<p>(状況) 製品安全3法に基づく立入検査による違反件数は0件でした。電気用品安全法に基づく「直流電源装置等」の立入検査を3事業所、家庭用品品質表示法に基づく「繊維製品等」の立入検査を1事業所、消費生活用製品安全法に基づく「石油給湯器等」の立入検査を1事業所で実施しました。 (原因) 各事業者が法令の目的を理解し、適正に遵守できているためと考えられます。</p>						<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (達成)</p>

基本事項05 消費生活意識の高揚

指標	消費トラブルの相談・解決方法の認識数 【市民安全課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		項目	1.99	-	2.03	→	
評価	<p>(状況) 消費トラブルの相談・解決方法の認識数（7項目中）は2.03項目で、前回（H30）1.78項目と比較すると0.25項目増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると0.04項目増加しましたが、市民アンケートの指標であるため、統計誤差の範囲であり横ばいです。認識している方策は、「メーカー等のお客様相談室への問い合わせ」、「クーリングオフ制度の活用」、「県の消費生活センターへの相談」の順で高い傾向となっています。 (原因) 「法テラスへの相談」や「消費者ホットライン188番への電話」などの認知度が低いことや、解決するための方策を知らない人の割合が高いことも要因であると考えます。</p>						<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>

政策 03 安全に安心して暮らせるまちづくり

施策 04 公共交通網の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	公共交通網が充実し、交通空白地域が減少します。

施策の成果状況と評価

指標	公共交通が利用しやすいと思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【市民安全課】	%	67.2	-	71.1	→
評価	(状況) 公共交通が利用しやすいと思う市民の割合は71.1%で、前回(H30)68.5%と比較すると2.6ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると3.9ポイント増加し、向上しています。 (原因) 路線バスとともに、市内循環バスや乗合タクシー事業が多く、市民に認知されていることが、公共交通の利便性の向上につながっているものと推測されます。					☀️ (向上)	
		目標達成度	☰ (達成)				

指標	公共交通の乗車人員 (参考値)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【市民安全課】	人	1,165,758	1,140,803	1,068,041	→
評価	(状況) 公共交通の乗車人員は1,068,041人で、前年度と比較すると72,762人減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると97,717人減少しており、順調ではありません。内訳は、路線バスが185,368人、循環バスが56,583人、乗合タクシーが4,110人、東北本線須賀川駅の乗車人員が821,980人となっています。 (原因) 利用者は年々減少傾向にあり、加えて新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令や不要不急の外出制限等により利用者が大幅に減少したことが要因と考えられます。					---	
		目標達成度	---				

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 交通弱者や交通不便地域の解消

基本事項 02 公共交通の利便性向上

基本事項01 交通弱者や交通不便地域の解消

指標	交通手段がなくて困っている市民割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【市民安全課】	%	6.5	-	5.2	→
評価	(状況) 交通手段がなくて困っている市民割合は5.2%で、前回(H30) 6.2%と比較すると1.0ポイント減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると1.3ポイント減少しており、目標値を達成しています。 (原因) 路線バスとともに、市内循環バスや乗合タクシー事業が多く、多くの市民に認知されていると考えられることから、引き続き公共交通の利便性の向上を図っていきます。					(向上) 目標達成 (達成)	

基本事項01 交通弱者や交通不便地域の解消

指標	乗合タクシーの運行地域カバー率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【市民安全課】	%	64.6	65.8	65.8	65.8
評価	(状況) 乗合タクシーの運行地域カバー率は65.8%で、前年度と同数であり、総合計画基準値(H28)と比較すると1.2ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 乗合タクシーは、路線バスの代替手段であり、平成30年度から東山エリアの運行を開始し、エリア拡大をしましたが、令和元年度以降変更ありませんでした。					(向上) 目標達成 (達成)	

基本事項02 公共交通の利便性向上

指標	各種バス年間乗車人員(参考値)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【市民安全課】	人	323,703	303,493	246,061	320,000
評価	(状況) 各種バス年間乗車人員は246,061人で、前年度と比較すると57,432人減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると77,642人減少しており順調ではありません。内訳は路線バスが185,368人、循環バスが56,583人、乗合タクシーが4,110人となっています。 (原因) 利用者は年々減少傾向にあり、加えて新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令や不要不急の外出制限等により利用者が大幅に減少したことが要因と考えられます。					--- 目標達成 ---	

基本事項02 公共交通の利便性向上

指標	須賀川駅の1日平均乗車人員(参考値)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【市民安全課】	人	2,307	2,294	2,252	→
評価	(状況) 須賀川駅の1日平均乗車人員は2,252人で、前年度と比較すると42人減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると55人減少していますが、ほぼ横ばいです。 (原因) 主な利用者は、通勤、通学者であると推測され、少子化により年々学生数が減少傾向にあることも要因にあると考えられます。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令や不要不急の外出制限等による影響もあるものと推測されます。					--- 目標達成 ---	